



## 利益相反に関するポリシー

### 目的

Santen は、事業のあらゆる局面において、当社の基本理念ならびに参天企業倫理綱領に基づき、常に誠実に行動し、倫理的な判断を行ってまいります。Santen は、従業員の権利と選択を尊重し、私生活に干渉することを望んでいません。利益相反の状態が発生してしまうこと自体が必ずしも悪いこととは言えませんが、会社の利益よりも個人の利益を優先するビジネス上の判断や行動は、当社のステークホルダーの権利および利益を損なう上、場合によっては法的問題となる可能性があります。Santen は、かかる利益相反に企業として倫理的な方法で対処し、ビジネス上の意思決定が正しい方法で行われるようにしてまいります。ビジネス上の判断や意思決定が個人的利益に影響されないことを確保するというコミットメントを確立するために、本ポリシーを制定しております。

### ポリシー

#### 利益相反

Santen は、本ポリシー、その他実際のまたは潜在的な利益相反に関する社内規程、法令、規制もしくは業界基準に則り業務を行わなければならない。

Santen の従業員および当社のために行動する者は、当社のためにビジネスパートナーを選定し、取引する際、決して個人の利益を当社の利益に優先させてはならない。取引を行う際は、常に会社の利益となるよう専門家として判断を行わなければならない。取引関係の開始または継続の条件として、自身や家族の個人的な利益を追求することがあってはならない。

実際のまたは潜在的な利益相反は、Santen の従業員または当社のために行動する者が、取引の結果、個人的利益を得る可能性のある意思決定に影響を及ぼす場合に生じる。従業員または当社のために行動する者が秘密情報にアクセスし、または意思決定プロセスに参加し、購入、契約、リースなどの取引に何らかの影響を及ぼす場合は、関係者の利益を保護できるよう、上長、法務部門、コンプライアンス部門、人事部門などの社内関連部門に利益相反またはその可能性について開示しなければならない。

**本ポリシーは、重要な事項を分かりやすく理解するために、標記事項に関する当社の社内方針、ガイドライン、標準業務手順書をまとめたものです。**